



地震

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

○神島地区の地震による危険

震度5強から震度6弱の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

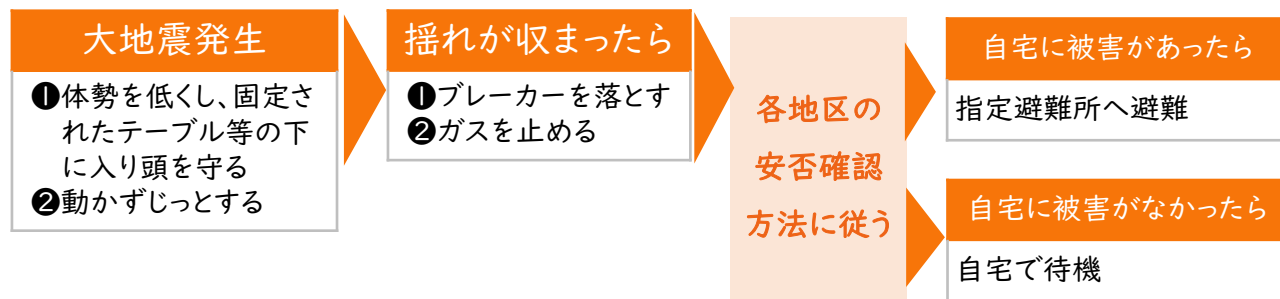
○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	物につかまらないうと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったたり、道路に段差が発生したりする可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

○大地震発生時の行動



ア 地区の安否確認方法を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

★神島地区の安否確認方法

・神島集会センター ・後山公民館
・小室公民館 に集まる

情報収集手段に関する紹介

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。



避難情報やハザードマップが確認できます。



2次元コードが読み込めない場合は、名前で検索してみよう！

静岡県防災アプリ

土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。



伊豆の国市 神島地区

わたしの避難計画 作成ガイド

はじめに 「わたしの避難計画」とは？

- ・自宅の危険度や、自分や自分の家族が「いつ」「どこに」避難するか記入して、災害発生時にどう行動するか整理することができます。
- ・いざという時確認できるように、冷蔵庫や玄関など、目に見えるところに貼っておきましょう。

<やることリスト>



大雨 河川氾濫 土砂災害	大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入	P2
	大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入	P3
地震	地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入	P4

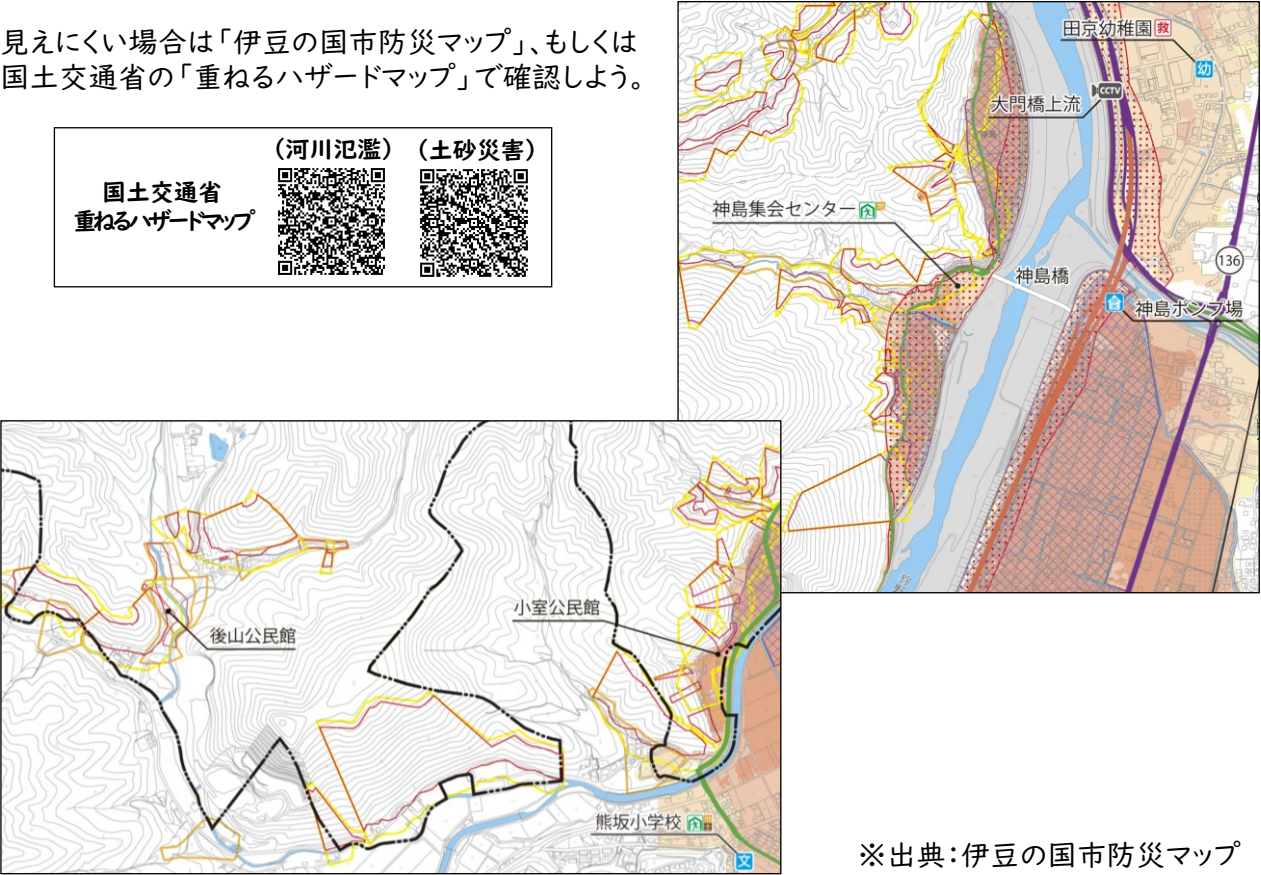
<見本>

大雨(河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「伊豆の国市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。



※出典：伊豆の国市防災マップ

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しよう

河川氾濫による危険

○家屋倒壊等氾濫想定区域
川が氾濫した場合、家屋が流出するおそれがある区域

○浸水想定区域(浸水深)
川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域

浸水深	避難区域
浸水深5.0m以上の区域	早期立退き
浸水深3.0m～5.0m未満の区域	早期立退き
浸水深0.5m～3.0m未満の区域	早期立退き
浸水深0.5m未満の区域	早期立退き
浸水なし	

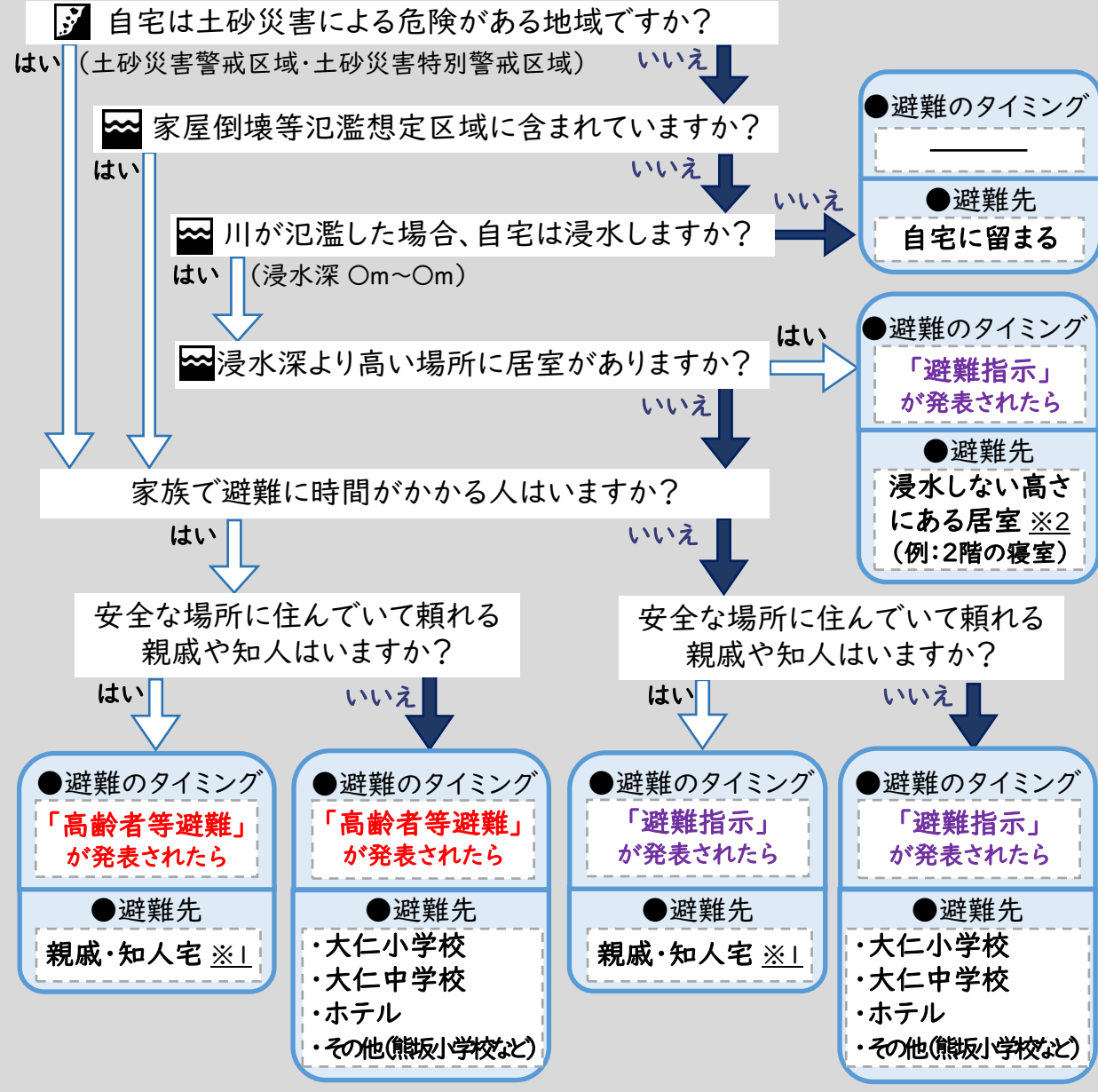
土砂災害による危険

○土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある地域

○土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておきましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

- 伊豆の国市公式LINE
- 伊豆の国市Eメール

避難情報やハザードマップ

- 静岡県防災アプリ
- その他アプリ

避難情報やニュース

- テレビ
- ラジオ
- ボタンで避難情報表示 (FMいずのくに・Radimo)

※市の公式LINEやEメール、県防災アプリについて、4ページに2次元コードを掲載しています。